

平成 26 年 9 月 19 日

# 南の風 77

南部ミニバスケットボール連盟  
会長 藤原 敬一

「観れども、見えす」という言葉があります。

あるゲームを観戦していた時のことです。試合会場の定番の風景として、ステージではたくさんの指導者が、俄かづくりの解説者？評論家？として話をしています。そのゲームは、〇〇チームが1Qからずっとリードをしています。〇〇チームは1-2-2のゾーン、負けている△△チームはずっとノーマルのマンツーマンで守っています。4Qに入っても10点差をつけています。△△チームはプレスディフェンスから展開を打開すべく、前から当たりに出ますオールコートのマンツーマンディフェンスです。〇〇チームは1回パスカットをされ、得点を許し8点差とされます。そのあとはガードを中心に、しっかりボール運びが出来ました。△△チームは、ボールを運ばれたあとも、相手にプレッシャーを掛け続けます。徐々に〇〇チームのオフェンスの足が止まり、特にオフボールマンがボールミートせずに立ってしまう場面が目立つようになります。その際に△△チームは、□番のエースが、相手のゾーンのギャップからミドルシュートを決め6点差とします。ここで〇〇チームは、タイムアウトを取ります。タイムアウトの後相手はプレスマンツーに対して、オフボールのプレーヤーの動きが少なくボールが回りません。△△チームは、またまたパスカットし速攻が決まり、4点差とします。この時点で残り時間は3分です。〇〇チームは、エースの◇番のプレーヤーにボールを集め1対1を仕掛けます。ドライブからジャンプシュートを打ちます。惜しくも外れます。オフェンスリバウンドに行くプレーヤーがいません。△△チームはリバウンドから、縦のパスがつながり速攻のレイアップが決まり2点差となります。残り時間1分となります。〇〇チームは、ガードがプレスディフェンスをうまく運び、ドリブルカットインを試みます。△△チームのファールとなります。(△△チームのファールは3つ目です。)スローインからエースの◇番に合わせます。◇番は一度ガードにパスを返し、インフロントカットからリターンパスを受けシュートにいけます。うまくノーマークに成ります。レイアップシュートです。しかし、外れてしまいます。オフェンスリバウンドが遅れます。お互いにボールを取りに行きルーズボールが△△チームに出ます。縦につなぎ、□番のエースがドライブでカットインします。クローズアップ気味のシュートに対して、ファールが起こりますがねじ込みます。バスケットカウントとなり同点です。フリースロー1本が与えられます。□番のエースが見事決め、逆転です。残り時間10秒となります。〇〇チームはガードから、エース◇番にボールをパスしようとしませんが、パスカットされ万事休す。△△チームの逆転勝ちとなります。

このゲームは我々コーチにたくさんのことを教えてくれているような気がします。ステージの俄か解説者？評論家？諸氏は、〇〇チームの敗因について次のようなコメントをしています。

A氏は、「〇〇チームの◇番のノーマークシュートミスがすべて」

B氏は、「タイムアウトが早すぎるのと、指示が不徹底だったのではないか」

C氏は、「〇〇チームのオフェンスに問題がある。オフェンスの指示があいまいだったのでは」

読者の皆さんは、敗因をどう考えますか？(ゲームを観ていないので難しいかもしれませんが)